

石巻瑞穂会だより「特集号」

平成 16 年  
11 月 7 日  
発行

千葉商科大学同窓会宮城県支部より、是非「石巻支部」を立ち上げて欲しいと要請があり、皆さんの協力・後押しがあればということで発足し、はや四年の歳月が経ちました。特に、たいした行事もせず、時間はかりが経過致しました。

さて、この会はこのままでいいのだろうか、疑問に思っているのは、私ばかりでしょうか。石巻地域に在住の会員の皆さんは、一〇〇名を遙かに超えております。折角立ち上げましたが、存続の是非を真剣に考えて欲しいと思ひペンをとりました。石巻瑞穂会の協力体制を整え、日頃のよりどころになればいいと、常々考えております。原点に返って考えて見て下さい。無くすことは簡単です。それでは余りにも惨めに思えます。発足に当たっての目的、趣旨を当時の「立案」のほがきを掲載致します。

同窓会直支部石巻地区在住者親睦会の「案内」  
謹啓 会員各位におかれましては益々健康のこととお慶び申し上げます。

日頃、同窓会支部の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご要望の多かった石巻地区親睦会の発会式を、下記の日程で実施する運びとなりました。

つきましては、同窓会支部の傘下の基、母校建学の精神に則り、会員相互の親睦を旨とし「協力と融和の精神」で会員各位の賛同を得ながら親交を深めて参りたいと、決意を新たに致しております。

当日、石巻瑞穂会（仮称）を充足させ第一回目の総会を開催し懇親を深めたいと計画致しました。

これを機会に是非、会員皆様方の出席を重ねてお願い申し上げます。



石巻瑞穂会発会式  
の案内「平成12年8月19日」実施

第16回県支部総会と石巻瑞穂会総会

第十七回宮城県支部総会の報告

十一月六日（土）ホテルユニバース仙台において、岩手県支部長野田和夫殿、福島県支部川名敏彦殿を来賓として迎え、和やかな雰囲気の中で開催されました。

記念撮影の後、議事に入り、ミニ講演と移りました。今年のミニ講演は、「懐かしき学生時代」という演題

で、昭和三十三年卒川名幸夫氏、平成八年卒木村拓也氏の講演でした。お二人のご講話は、当時の思い出等、懐かしいお話でした。ご講演頂いた木村拓也氏は、ご夫婦共商大出身ということで、ご出席頂きました。

懇親会では校歌斉唱の後、懇親を深めました。恒例になったビンゴゲームで盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。今年の出席者は、十八名と少なく石巻地域からは、二名と寂しい限りでした。あれだけ盛大に立ち上げた、石巻瑞穂会はどうなったのかと、思わずにはいられません。総会の様子を、スナップ写真で紹介し報告にかえたいと思ひます。



第十七回県支部総会

「ホテルユニバース仙台」にて



商大瑞穂会館

第十七回県支部同窓会総会



受付風景



木村拓也氏 ミニ講演  
「懐かしき学生時代」

総会風景



名村幸夫氏 ミニ講演  
「懐かしき学生時代」



総会風景

懇親会風景



来賓 岩手県支部長  
福島県支部長



木村拓也  
紀子ご夫妻

編集後記

平成十二年発会式の案内状、平成十四年の総会時における報告、平成十五年における、宮城県北部地震の被災にあわれた方々に、「お見舞いのはがき」の発送などを行って参りました。その他、ビアパーティ、忘年会等を計画致しましたが、もう一つ賛同を得られず計画倒れになっております。今年の県支部総会への参加者は、石巻地域からは2名の参加でした。いろいろ事情はあると思いますが、意識の低さが感じられます。来年は、発足5年目になります。この際、若い方々を中心に新しい感覚で会の存続を考えて頂きたくお願い申し上げます。

石巻瑞穂会世話役 阿部忠九